



所在地 〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町14番41号

電話番号 06－6761－0902

HPアドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/e591240>

校長名 大澤 啓司

【学校の概要】

明治7年11月西成郡7番小学校として開校し、昭和22年4月真田山小学校と改称されました。

本校では、「心豊かで、すすんで課題に取り組むたくましい子」を学校教育目標に掲げ、確かな学力、豊かな心、たくましい体の3要素のバランスのとれた児童の育成をめざした教育活動を行っています。教科指導においては、児童一人一人が興味関心をもって、粘り強く取り組む力を育てることを目標にしています。授業の中で課題把握や問題発見の場を設定し、自ら学び考え、意欲的に課題解決に取り組むことができるよう指導法の研究を進めています。

令和6年度に創立150周年を迎えました。これまでに保護者や地域の皆様と共に歩み育んできた真田山教育の歴史と伝統を継承していきながら、今後も教育活動を推進していきます。

【児童数】 (令和8年5月1日現在)

学年	児童数	学級数	特別支援学級数
1	178	5	7
2	151	4	
3	183	6	
4	169	5	
5	187	6	
6	169	5	
計	1,037	31	

【主な学校行事】 (令和8年度)

4月	入学式、始業式、教育相談ウィーク
5月	遠足、学習参観
6月	プール開き、学習参観
7月	個人懇談会、終業式、林間学習（5年）
8月	始業式
9月	学習参観
10月	運動会、遠足
11月	修学旅行（6年）、作品展、学習参観
12月	個人懇談会、終業式
1月	始業式
2月	学習参観、卒業遠足（6年）
3月	卒業式、修了式

※上記の学校行事は変更することがあります。

【学校説明会・見学会日程】

本校校区にお住まいの方対象の学校説明会及び学校見学会

9月15日（火） 13:25～14:35

◆学校説明会 13:25～13:55（図書室）

◆学校見学会 13:55～14:35（校内を案内します）

【詳細】

*参加希望の方は電話予約をしてください。（教頭まで）

*玄関で受付後、順路に沿って図書室へお進みください。

*見学会は学校職員が誘導します。

*学校選択制の受付はしていません。

本校校区お住まいの方対象の説明会です。

【R7 全国学力・学習状況調査の結果】

【自校の取組の成果と課題、アクションプラン】

平均正答率	国語	算数	理科
学 校	67	63	58

平均正答率では、全国平均と比べて、算数では5ポイント上回り、国語、理科でもそれぞれ0.2ポイント、0.9ポイント上回っている。

【国語】「文章全体の構成を捉えて要旨を把握する」等の「読むこと」の問題では、全国・大阪市平均と比較して5ポイント前後上回っていた。一方、「文章の構成を考える」などの「書くこと」の問題では、全国・大阪市平均と比較して5ポイント前後下回っている。

【算数】概ねどの問題においても、全国・大阪市平均を上回っており、特に「表や資料から条件にあった項目を選んだり、必要な情報を選び数量関係を式に表し、計算する」問題においては、全国・大阪市平均と比較して8ポイント以上、上回っている。【理科】問題別では、「へちまの花の受粉」「赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方のちがい」に関する問題で全国・大阪市平均を大きく上回っている。一方で「電磁石の強さ」に関する問題では、全国平均を9ポイント下回っている。

【アクションプラン】基礎的・基本的な力については、自分の考えを深めたり、自分の考えを伝えるために工夫して発表するということには課題がある。今後も主体的・対話的で深い学びができるように、ペア学習やグループ学習を取り入れながら、共に学びを深めていくことができる児童の育成を図っていく。また、発表する際に学習者用端末を活用する機会を増やし、資料や文章の組み立てを工夫して発表する力を養っていく。

【R7 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果】

【自校の取組の成果と課題、アクションプラン】

平均値	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ	合計点
男子	17.19	20.96	35.41	43.18	50.08	9.32	160.37	18.95	55.14
女子	16.52	17.11	39.05	39.65	37.75	9.76	134.38	10.39	52.85

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

体力合計点の平均点は、男女ともに大阪市平均は上回ったが、女子は全国平均よりは下回っている。種目別に見ると、男子は8種目中7種目と体力合計点、女子は5種目で全国・大阪市平均よりも上回っている。女子は「上体起こし」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」、男子は「ソフトボール投げ」の記録が全国・大阪市平均を下回っていた。

質問紙調査からは、「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答えた男子が76.8%、女子が58.5%とともに全国・大阪市平均よりも高い数値となっている。しかし、1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は男子が6.6%で全国・大阪市平均よりも低い数値であった。

児童数が多く、運動場が狭いため休み時間は2学年ずつに制限しており、校内で自由に運動に親しむ機会は少ない。またクラス数増加のため、体育科は2クラス合同で活動している。学習場所の確保のため真田山グラウンドを活用する等の工夫をしている。

今後も体育の学習が楽しいと感じる児童を増やすとともに、目標設定や振り返り活動、仲間と教え合う場の設定、ICTの活用など、授業づくりに関する工夫を図ることで、児童が運動に親しむ機会を確保していく。

◆学校教育目標

「心豊かで、すすんで課題に取り組むたくましい子」の育成

◆重点目標

○すすんで課題に立ち向かい、ねばり強く取り組む子

○思いやりをもち、互いに支え合う子

○自ら目標をもち、身体を育む元氣な子

《中期目標》

【安全・安心な教育の推進】

○令和11年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。

○令和11年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を2.2%以下にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。

○令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各種目別平均と体力合計点を、男女ともが全国・大阪市より上回るようにする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和11年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したりできていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。

《令和8年度の主な重点取組》

●「思いやりをもち、互いに支え合う子」をめざした、安心・安全の学校環境の実現

- 各学年で、年間1回以上、外部人材を活用した学習や体験を実施する。
- 遠足や児童集会等、異学年交流の機会を多く設定する。また、その活動を通して達成感や自己肯定感を得られるように、場の設定や展開を工夫する。

●学力を向上させ、自分の思いや考えを持ち進んで表現しようとする子の育成

- ポジティブなフィードバックで自己肯定感と学習意欲を高めるとともに、児童の実態を踏まえ、興味・関心を引き出す授業づくりを行う。
- 英語の音声認識と基礎学力の定着のための「真田山タイム」を毎日15分間実施する。
- 探究的な学習（自ら課題をみつけ、考えを形成し、交流・表現する）を意識した単元計画を立て、実施する。

●子どもの体力・運動能力向上のための取組と、保健指導や食育指導の推進

- 運動の機会の確保や体力向上のために、「チャレンジ運動タイム」を設け、体力づくりに努める。
- 健康強調習慣を設けるとともに、委員会活動を通じて、各学級の衛生面への意識向上に努める。
- 給食強調週間を設けるとともに、委員会活動を通じて、食への意識向上に努める。

●学びを支える教育環境の充実

- 1人1台学習者用端末の環境を生かし、個別最適化の学びと協働的な学びの実現に向けた取組を学級経営及び、学習指導において推進する。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づいた、教職員の働き方改革を推進する。週1回「ゆとりの日」の実施。
- 学校司書との連携や学校図書館ボランティアの協力を得て、定期的に本の読み聞かせを実施する。

●安全・安心な教育活動を確保するための計画的な環境整備

- 教職員による校内安全点検を実施する。
- 掃除用具を整備するとともに、毎日の清掃指導を徹底する。

質の高い教育を実現する学校体制と、豊かな教育活動の設定

- 外国語や体育科、理科などでは専科制の授業を取り入れ（中学年以上）、教員の専門性を生かした授業を実施しています。
- 研究校としての伝統を継承し、校内における教科研究の取組を推進しています。
- 令和8年度は「『主体的に学び、自分の考えを表現する子どもの育成』～PBSを通して、互いに認め合う集団づくり～」を研究主題として、ポジティブ行動支援の考え方をもとに、児童に対する指導・支援の在り方を研究・共有化し、児童の自尊感情を高められるようにします。さらに、児童同士もお互いに目を向け、認め合う関係性も育てることで、望ましい行動を広げていきます。
- PTAや地域の方と協働した行事も年間を通して行い、多様な教育活動の機会を設定しています。

標準服 有 無

※学校ホームページをご参照ください。